

教科 数学 科

科目	数学 I	学年・コース	1 学年	コース	単位数	3 単位	区分	必修
学習の目標	1. 数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばす。 2. 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。							
教科書	高校数学 I (実教出版)							
補助教材等	高校サブノート数学 I (実教出版)							
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間
1	4	1章1節 整式 1章2節 実数			整式の展開、因数分解を理解する。 平方根を含む式の計算方法を取得する。			18
	5	1章3節 方程式と不等式 2章1節 関数とグラフ			1次方程式・不等式の解法を取得する。 2次関数のグラフを理解する。			20
	6	2章2節 2次関数の値の変化			2次関数の最大、最小の理解を深める。 2次方程式・2次不等式の解法を取得する。			19
	7	3章1節 三角比 3章2節 三角比の応用			三角比の定義を定着させる。 正弦定理、余弦定理、面積を理解する。			18
2	8	4章1節 集合と論証			集合の要素、和集合、共通部分を理解する。 命題と集合の関係を理解する。			10
	9	5章1節 データの分析			平均、分散、標準偏差を理解する。			20
	10							
	11							
	12							
3	1							
	2							

評価の観点	知識・技能	方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識ができたか。また、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できるか。
	思考・判断・表現	方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えたとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができるか。
	主体的に学習に取り組む態度	方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できるか。